

富山県臨床研修病院連絡協議会について

「富山県臨床研修病院連絡協議会」は、富山県内の臨床研修病院間の連携強化を図り、初期臨床研修医確保対策を推進することを目的として、平成 23 年 3 月 19 日に発足しました。富山県内の 12 の臨床研修病院が参加しており、医学生の皆さんが臨床研修病院を選ぶ際に役立つ情報提供等を行っています。

平成 23 年度は、病院見学・交流会（夏セミナー）や富山県臨床研修病院合同説明会（春セミナー）などのイベント開催や、ホームページやメールマガジンを通じた情報提供などを行いますので、皆さんぜひ利用してください。

お問合せは、こちらにお願いします。

富山県臨床研修病院連絡協議会 事務局（富山県厚生部医務課内）

〒930-8501 富山市新総曲輪 1 番 7 号

TEL 076-444-3218（直通） FAX 076-444-3495

e-mail doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp

富山県内の臨床研修病院

病 院 名	所在地	初期 研修	後期 研修	TEL
黒部市民病院	黒部市 三日市 1108-1	○	○	0765-54-2211
富山県立中央病院	富山市 西長江 2-2-78	○	○	076-424-1531
富山市民病院	富山市 今泉北部町 2-1	○	○	076-422-1112
富山大学附属病院	富山市 杉谷 2630	○	○	076-434-2281
富山赤十字病院	富山市 牛島本町 2-1-58	○	—	076-433-2222
富山県済生会 富山病院	富山市 楠木 33-1	○	○	076-437-1111
高岡市民病院	高岡市 宝町 4-1	○	○	0766-23-0204
富山県済生会 高岡病院	高岡市 二塚 387-1	○	—	0766-21-0570
富山県厚生連 高岡病院	高岡市 永楽町 5-10	○	○	0766-21-3930
金沢医科大学 氷見市民病院	氷見市 幸町 31-9	○	—	0766-74-1900
市立砺波総合病院	砺波市 新富町 1-61	○	—	0763-32-3320
南砺市民病院	南砺市 井波 938	○	○	0763-82-1475

富山県地域医療再生修学資金

- * 富山県では、将来、富山県内の公的病院等の小児科・小児外科・産科・麻酔科・救急科・総合診療科の医師を育成する観点から、医学生の方に対して、地域医療再生修学資金を貸与する制度を設けています。

【制度の内容】

1. 前期コース（募集人数30名 うち1年生は20名以内）

- ▼ 対象…大学1～4学年の学生で、臨床研修修了後、県内の公的病院等で診療に従事する意志のある方
- ▼ 貸与期間…大学4学年まで
- ▼ 貸与金額…月額4万円、1学年の医学生は *入学月には30万円を加算します。
- ▼ 返還免除…臨床研修修了後、直ちに県内の公的病院等の医師として勤務し、その期間が貸与期間の2倍に相当したとき

2. 後期コース（募集人数12名）

- 対象…大学5、6学年の学生で、臨床研修修了後、県内の公的病院等の小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科で診療に従事する意志のある方
- 貸与期間…大学6学年まで
- 貸与金額…月額7万円
- 返還免除…臨床研修修了後、直ちに県内の公的病院等の小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科の医師として勤務し、その期間が貸与期間の1.5倍に相当したとき

※ 詳細は、富山県のホームページhttp://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204により確認をお願いします。

- * 募集期間…平成23年4月11日～6月30日まで<当日消印有効>

病院見学・交流会(夏セミナー)

- * 将来、県内での診療従事を志望している医学生の方に対して、県内医療機関において見学・実習及び交流の場を提供し、県内の医療に関する情報を提供するとともに、医学生等相互間の連帯感を醸成することを目的として、病院見学・交流会を開催しています。

【開催内容】

1. 開催日

平成23年8月17日(水)及び18日(木)

実習会 (8月17日、18日) : 午前8時30分～午後5時頃(予定)

交流会 (8月17日) : 午後6時00分～(予定)

2. 病院実習・交流会の内容

(1) 病院実習

1日目…1コースあたり2病院

※ 対象：全学年

2日目…1コースあたり1病院

※ 対象：4～6年生(1～3年生は希望者)

(2) 交流会—実習報告(1日目) 交流会会場「ポルファートとやま」

① 実習報告(医学生…実習の感想)

② 先輩医師からのメッセージ(仮題)「『医師』という仕事」、「臨床研修について」

(3) 交流会—情報交換会(1日目) ◆懇親(病院PR、学生間交流)

※ 医学生の皆さんが、地域医療や臨床研修等についての情報交換ができるように、臨床研修医や指導医の方に参加をしていただく予定です。

- * 実習先の病院や参加者の募集など、「平成23年度夏セミナー」についての実施要項が決まりましたら、医学生の皆さんにお知らせいたします。





研修医からのメッセージ



氏名 藤井 佑子

金沢大学たすきがけ研修医 1 年目

出身大学 福井大学

こんにちは♪現在 5 月上旬。まだ「先生」と呼ばれるのには違和感ありな今日この頃。

日々、勉強したり笑ったり、疲れて寝たり、ときには愛情に満ち溢れた指導を受けたり(≡怒られたり)、それで更に勉強したりと充実した生活です。といっても今のところ当直以外は体力勝負になることはないので(診療科にもよりますが)、研修医みんな、めっちゃめっちゃ肌ツヤもよく、いい顔しています。もちろん直明けの日はそれなりの顔です。

待遇もよく、毎日、病院の隣の官舎から白衣通勤しています。(ちなみに宿舎はユニットバスを除けば良いです)

そして、研修医部屋に荷物を置いて仕事に行きます。時間が空いた時にも研修医部屋に集いますが、まさにみんなの憩いの場です。(賑やかというよりやかましい)どーでもいい話をしたり、お互いが見た症例や得た知識を話したりして共有し合っています。

もちろん情報交換もしています。「やっぱもつべきものは同僚だ」と実感しています。ちなみに、最近のもつぱらの話題は、上級医の先生主催のランニング会(朝 5 時集合、10Km)に行くかどうかという相談です。私は行きませんが……

最後になりましたが、当院はとて患者さんに優しい病院であると共に、ほんとうに研修医に優しい病院です。先生方にも事務局の方にも、心から歓迎されて大事にされているのを実感します。事務の方がかなり気さくで気配りをしてくださることもあり、見学も来やすい病院だと思います。

皆さん、とりあえず研修医の顔を見に来てください。お待ちしております。



事前見学はお気軽に申込下さい

〒938-8502

富山県黒部市三日市 1108 番地 1

黒部市民病院 総務課課長補佐

臨床研修係長 池田 秀之

TEL0765-54-2211 FAX0765-54-2962

e-mail somu2@med.kurobe.toyama.jp



研修医からのメッセージ



氏名 牧石 祥平
富山県立中央病院 1年目研修医
(現在、救命救急センター科研修中)
出身大学 金沢大学

物事を第一印象だけで判断してはいけないなどよく言われますが、私は富山県立中央病院での研修を第一印象で決めました。

研修病院を選ぶときに、何を基準にするか。教育体制、地域、給料等いろいろあると思いますが、結局最後は見学等を通して感じた自分の直感に頼ることの方が多いのではないのでしょうか。直感で選んで、あとで「やっぱりな。」と思った経験は誰しもあると思います。直感はその時のまわりの人の声の調子、表情、肌で感じる雰囲気等を総合的に判断したもので、私は、なかなか馬鹿にできないものだと思っています。

私も研修を始める前に何度か見学をさせていただいたのですが、その時の雰囲気がよかったことがこの研修病院を選ぶ決め手となりました。実際に研修医として働きはじめて、直感は正しかったと思います。

現在豊富な症例、上級医の先生方の熱心な指導、多くの研修医の仲間といった恵まれた環境のなかで、自分が成長しているのを感じながら忙しい毎日を過ごしています。

もし見学をしてみて「富山県立中央病院での研修がいいかも」と思ったならば、その直感を大切にしてみるのもいいかもしれません。



指導医のメッセージ

氏名 野田 八嗣 富山県立中央病院 内科(消化器) 副院長



当院は県の基幹中核病院として「やさしさ・信頼・安心」をモットーに、患者さん本位の医療の提供を心がけ、高度専門医療と急性期医療を中心に全国トップレベルの医療をめざしています。地域住民の方々や地域の医療機関からの信頼は厚く、富山県医療の最後の砦として多くの患者さんが来院されます。さらに救命救急センターがあり、一次から三次まで多くの救急患者を受け入れています。また数多くの臨床研修医を指導してきた実績があり、彼らは大学や地域の基幹病院で活躍しています。ぜひ症例が豊富で指導医と施設が整い、実績もある当院で臨床研修していただきたいと思えます。



研修医からのメッセージ



氏名 清水 啓智
富山市民病院基幹型 1年目研修医
(5月は消化器内科で研修)
(6月は血液内科で研修)
出身大学 北里大学



学会発表のため、パワーポイントと格闘中

富山市民病院は、地域の中核病院として地域住民の方々の健康を維持、回復するために医療を提供しており、私も研修医として、そのお役に立てるように日々尽力しています。

富山市民病院の臨床研修の特徴としては、指導医の割合が研修医に対して高いことがあげられます。マンツーマンによる指導体制がきっちり整備されており、先輩の先生方から、本当に熱心に、丁寧に指導していただけます。

学生時には学べない、医療の現場における実践的な技術を身に付けるには、最適な病院だと思います。

現在、基幹型で4名、たすきがけの研修医を含めて6名の研修医がいますが、研修医の仲もよく、交流を深めるための飲み会なども多くあります。

皆さんも、一生懸命に、そして楽しく勉強出来る富山市民病院で研修してみませんか。



左下から、奥村Dr、福田Dr、武島Dr、
左上から、竹中Dr、清水Dr、
そして写真撮影日にうっかり外出した森尻Dr

指導医のメッセージ

氏名 蓑内 慶次 富山市民病院 内科 職名:臨床研修センター一部長

みなさん、こんにちは。富山市民病院の蓑内慶次です。

当院での臨床研修は、第一に沢山の症例の診療に指導医とともに関わっていただき、より Bed side での実践的な研修を心がけています。そして幅広く Common diseases を学び、その上でより専門性を目指しています。

当院は、地域医療支援病院として、地域医療機関からの紹介や救急患者さんを積極的に受け入れ、地域がん診療拠点病院としての診療や研修も行っています。さらに緩和ケア病棟も設置されており、緩和ケアチームにも参加していただけます。集中治療室や高度治療室での急性期医療、富山医療圏の輪番病院としての救急医療はもちろんのこと、特徴ある各専門科での選択的な研修も行えます。

また、姉妹都市である米国ノースカロライナ州ダーラム市にあるデューク大学の地域・家庭医学教室と提携し、研修医を含めた相互的な人的交流も行っています。

多くの皆さんが当院での臨床研修に参加していただきたいと考えています。





住所 〒930-0194 富山市杉谷 2630

TEL 076-434-7806

FAX 076-415-8990

URL <http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/dect/index.html>



卒後臨床研修センターのメッセージ

富山大学附属病院では、卒後臨床研修センターが研修医のみなさんのサポートを一手に引き受けています。進路のこと、研修内容のこと、日々暮らしの中で相談したいこと、勉強したいこと、‘何でも‘‘気軽に‘相談できる体制が整備されていて、毎日のように新しく整備された研修センターへ研修医がやってきます。

「希望はできるだけかなえてあげたい」、「一社会人として社会に貢献する第一歩の環境づくりにできるだけのことをしてあげたい」・・・毎日スタッフは親身になって研修医のみなさんが充実した研修生活ができるようにサポートをしています。

また、豊富な研修プログラムを整備し、一流の専門医養成をバックアップする専門医養成支援センターが当センターと一体となって将来のキャリアアップの相談窓口となり、卒後臨床研修修了後には、さらに充実した専門研修が実現できます。

あなたもぜひ、明るくのびのびと、common disease、専門性の強い疾患、地域医療研修まで幅広く変化に富んだ柔軟性の高い研修プログラムを提供する富山大学で研修をしてみませんか？
病院見学も随時行っております。多くの熱心な指導医があなたを待っています！



【研修医室】

研修医からのメッセージ

♪ 女性研修医 2年目 ♪

各科の研修では、一症例につきじっくりと考えるゆとりがあります。経験を積んだ多くの先生方の考え方を学ぶことができるのは、大学の特徴であると思います。指導医と一緒に行動することが多いので、安心感があります。研修生活は、アメニティが充実している上、担当の先生方や事務の方の手厚いサポートがあり、環境にも恵まれ、生活上大きく困ることはないと思います。仲間も多いので、切磋琢磨しながら楽しく学び多い研修生活を送っています。

♪ 男性研修医 2年目 ♪

和気藹々と楽しく研修しています。大変なこともあります。研修医同士話し合ってみんなで支えあっています。



研修医からのメッセージ



氏名 五十嵐 太郎

富山赤十字病院 1年目研修医 (現在、内分泌内科研修中)

出身大学 昭和大学

この文章を、書いている時点ではまだ臨床研修を始めて約1ヵ月なので、現時点で分かる範囲のことを書こうと思います。

まず、ここ富山赤十字病院の研修医の人数は決して多いとは言えません。しかし、それが良さの一つ目でもあります。というのは、少人数であるが故に研修医一人に対しての指導医の数が多くなりそれだけ手厚い指導を受けることができます。さらには、すぐに顔と名前を覚えてもらうことができ、コメディカルのスタッフも家族のような目で温かく見守ってくださいます。研修医が困って一人でアタフタ…なんてことはないでしょう。

次に、市中病院としての良さです。内科の初診外来では common disease を多く学ぶことができます。これは、みなさんの臨床の幅を広げる良い機会になると思いますし、救急の場でこの知識や経験はすぐに実践として活かすことができます。特に、救急当直では早い段階で自ら処置・処方を行うことができ、診察～診断～初期治療と言った一連の流れを学ぶことができます。

最後に、これは研修内容とは直接関係ないかもしれませんが、富山駅や中心街から近い好立地であるため、生活環境も非常に充実しています。これは、研修生活を実際に行ってみないと分からない重要なことです。充実した研修生活は安定した生活基盤あってはじめて成立するのではないのでしょうか。

他にもたくさんのお伝えしたいのですが、文章だけで多くは伝えきれないので、皆さんまずは見学に来て雰囲気だけでも味わってみませんか？

指導医のメッセージ

氏名 黒川 敏郎 富山赤十字病院 血液内科部長(臨床研修委員長)



富山赤十字病院は平成19年に創立100周年を迎えた富山県で最も古い病院です。435床と中規模ですが各科が揃っており横の連携がよく取れた病院です。700名のスタッフが一丸となって医療に取り組むチームワークのよさがあります。

初期研修の目標はありふれた病気を診る力をつけることですが、当院はそれを達成するのにふさわしい病院です。富山医療圏の二次救急の輪番病院でもある当院には年間3500台の救急車が来ますが、救急当直は月3～4回、指導医と一緒にいきます。各科の指導医も出席して救急症例検討会が毎週行われ、研修医が救急で経験した症例を皆で検討します。

赤十字病院の大きな特徴として人道・博愛の赤十字精神にもとづく災害救護活動があります。先の東日本大震災に際しても当院から救護活動班が継続して応援に行きました。

富山駅から徒歩圏内の便利な位置にありますし、近くの環水公園は雰囲気抜群です。病室からの立山連峰や神通川の雄大な眺めは心にやすらぎを与えてくれます。

平成23年度は基幹型初期研修医1年生が3名います。研修医のいる病院は子どものいる町と同じで活気に溢れています。彼らを指導することにより私たち上級医も学ぶことがたくさんあります。是非、富山赤十字病院に初期研修医として来てください。有意義な2年間をともに過ごしましょう。



研修医からのメッセージ



氏名 田中 修平
2年目研修医（現在、救急・麻酔科研修中）
出身大学 富山大学

卒後臨床研修2年目の田中修平です。富山大学附属病院から協力型として、済生会富山病院で救急・麻酔科の研修をさせて頂いています。救急では、輪番日の救急搬送の初期対応や、脳卒中ホットラインにて搬送された方を指導医の先生方とともに診察させて頂いています。

また、麻酔科では1日1～2症例ですが全身麻酔症例を担当し、麻酔管理の研修をさせて頂いています。その他にも、脳神経外科のカンファレンスに参加したり、心臓カテーテル検査を行ったりと、多科にわたり勉強させて頂いています。

このように各科にこだわらず広く学ぶことができ、また柔軟にこちらの意見を取り入れてくださるので充実した毎日を送っています。



指導医のメッセージ

氏名 久保 道也 済生会富山病院 脳神経外科 職名:脳卒中センター一部長・脳神経外科部長

「アウェイクの患者さんに気管挿入したのは初めてです。」重症脳卒中で呼吸状態の悪い患者さんに気管内挿管を無事に終えた彼は、やり遂げた達成感と充実感に満ちていました。麻酔科研修ではたくさんの気管内挿管を経験しているものの、きっと麻酔のかかっていない患者さんは初めてだったのでしょう。「午前中は比較的時間が空いているので、もっと救急患者を診たい。」



ーという前向きな彼の姿勢に『救急の神様』が将来への期待を込めてほほ笑んだものと思われま。まさに「求めよ、さらば与えられん。」です。巨大病院での研修にはない、少数精鋭の研修の良さっていうのを、感じとってもらえたことと思います。

東日本大震災への対応

富山県では、3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対して、発生直後から現在まで、継続的な支援を行っています。その取組みの一部をご紹介します。

1. DMATの派遣

富山県では、被災地からの派遣要請を受け、DMAT(災害派遣医療チーム)を持つ県内6病院に対し、現地へのDMAT派遣を要請しました。地震が発生した3月11日の20:00までに、以下の6病院からチームが順次出動し、12日から災害医療活動を開始しました。

<派遣病院> 県立中央病院・富山赤十字病院・富山大学附属病院・
黒部市民病院・厚生連高岡病院・富山市民病院

各チームは、岩手、宮城、福島各県で災害医療活動を行いました。災害医療に興味をお持ちの方は、ぜひ上記の病院を見学して、DMATチームの医師に話を聞いてみてください。

2. 医療救護班の派遣

富山県では、岩手県からの要請を受け、3月17日から岩手県釜石市に医療救護班を派遣しました。県内の16病院から、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士などを派遣してもらい、10名前後の班で医療救護活動を実施しました。

3月17日から5月9日まで、13班を切れ間なく派遣し、避難所で被災者の方の診療等を行いました。



3. 職員の声

私は、4月6日から12日までの7日間、富山県医療救護班(第6班)の現地調整員として、岩手県釜石市に行ってきました。富山県は釜石市災害対策本部から5箇所の避難所の巡回診療を任されており、それぞれの避難所では、ご持病の常用薬を津波で流された方や、片付けで足腰を痛められた方、慣れない避難所生活で体調を崩された方などへの診療対応を行いました。

マスコミ報道等で伝えられているとおり、現地の被災状況は凄まじいものですが、そのような状況においても明るく振舞われ、我々を逆に心遣ってくださるような釜石の人々の温かな人柄、また、必死に医療を支えていらっしゃる市職員や地元医師会の方々の姿には大変心を打たれました。

被災地での医療は、まさに「地域医療」の原点であり、今回の医療救護活動を通じ、医療行政の一端に携わる者として、机上では得られない、大変多くのことを学ばせていただいた気がします。



もう一つ、今回の救護活動で得られたもの。それが同行した医療スタッフの方々との縁です。我々の班は県内4病院の混成チームでしたが、日々の活動を通じて非常に強い連帯感を持つことができました。これも県庁だけの仕事では得ることのできない貴重な体験だったと思います。いつの日か、今回のメンバーで復興した釜石を旅するのを楽しみにしています。 医務課 牧山 貴英

e-residentへの掲載

臨床研修医情報サイト「e-resident」に富山県のページを掲載しています！

富山県が主催する最新イベントや、医学生の皆さんを支援する事業のご案内、各臨床研修病院の紹介ページなど、皆さんのお役に立つ情報をたくさん載せていますので、ぜひご覧ください。

臨床研修徹底解剖！
e-resident 2012

様々な地域医療を
経験できます
それが富山県！！

レジナビフェアへの参加

2011 レジナビフェア



富山県では、臨床研修病院合同説明会（レジナビフェア）に「富山県病院群」として参加します！

7月3日（日）の大阪会場には6病院、7月17日（日）の東京会場には10病院が出展します。

各病院の研修医や指導医と実際に話してみませんか！皆さんのご来場お待ちしております！！

メールマガジンの配信

富山県から、医学生の皆さんに「富山県医学生だより」というメールマガジンをお送りしています！

富山県が主催するイベントはもちろん、富山大学附属病院の専門医養成支援センターや卒後臨床研修センターからのお知らせなども配信中です。

最新情報をお届けしていますので、未登録の方は、ぜひご登録ください！！



メールマガジンをご希望の方は、下記までご連絡ください。

doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp